

天橋立周辺をモデル地区とした検討背景・主旨等

1 背景

現在、京都府では「京の景観形成推進プラン(平成17年度新規アクションプラン)」を策定中であり、その取組の一環として、広域的及び特徴的景観を有する天橋立周辺地域を良好な景観形成推進のモデル地区として位置づけたもの。

2 主旨

日本三景天橋立とその周辺地域は、古来から詩に詠まれ絵画に描かれてきた優れた景観を有する地域である。

府が取り組む広域的景観形成のモデル地区として、良好な景観の保全及び形成に向けた方策を検討するとともに、その核となる天橋立の松並木を未来に継承する方策を検討するもの。

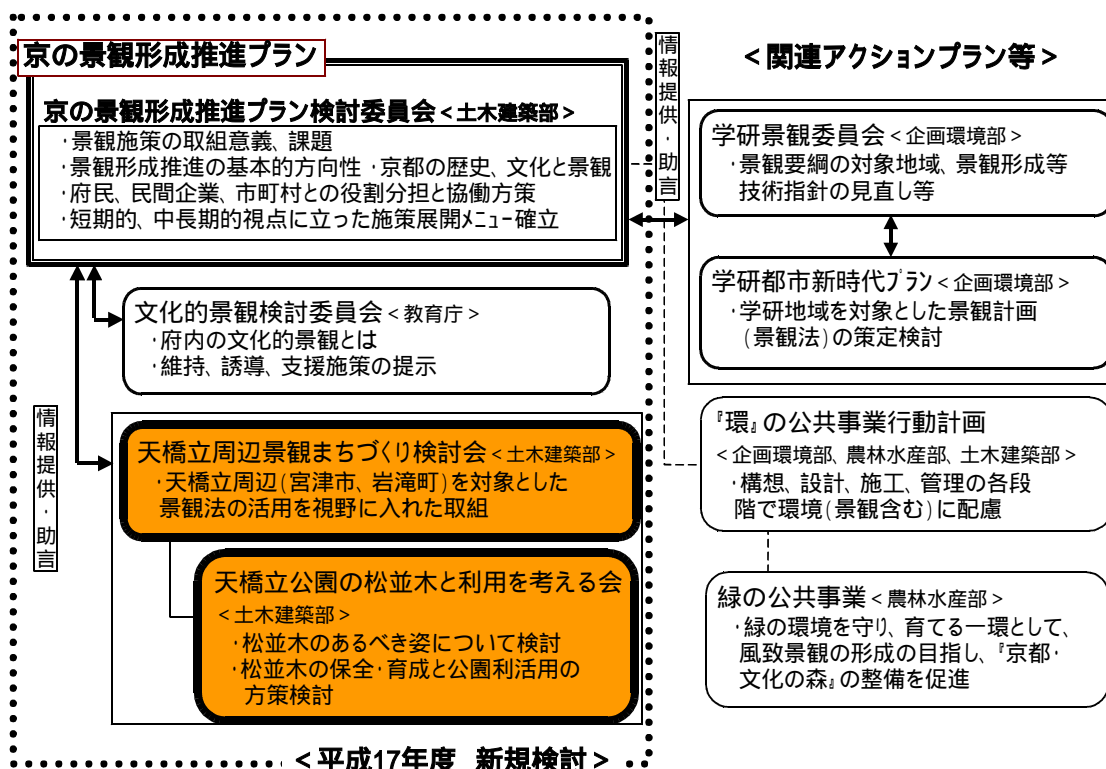
3 検討事項

(1) 天橋立周辺景観まちづくり検討会

天橋立を中心とする周辺地域において、自然、歴史及び文化などの地域特性を踏まえた良好な景観形成の方向性を確立し、景観法を活用したその実現方策とともに、観光振興や地域活性化にもつなげる景観を活かしたまちづくり方策を、地元団体を中心に検討する。

(2) 天橋立公園の松並木と利用を考える会

主に天橋立の松並木のあるべき姿について、生態学、歴史文化、心象風景を含めた景観の観点から総合的に検討するとともに、松並木の保全・育成と公園の利活用における具体的な府民協働の取り組みについて、学識・有識者、地元団体等を中心に検討する。



検討スケジュール

	天橋立周辺景観まちづくり検討会	天橋立公園の松並木と利用を考える会
H 1 7 年 度	<p>第1回合同検討会（9月22日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討内容、体制の確認 ・地元意向調査（アンケート）実施に向けた報告 ・ワークショップ企画に関する報告 ・意見交換 <p>・景観特性調査概要報告</p> <p>・次回意向の検討事項確認</p>	
	<p>景観アンケート実施（9月下旬～10月下旬）</p>	
	<p>第1回ワークショップ（10月22日）</p> <p>『天橋立とその周辺の景観を考えよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観点検ウォッチング（好ましい・好ましくない景観点検、私の三景） 	<p>第2回ワークショップ（10月29日）</p> <p>『天橋立の隠れた魅力を発掘しよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私のお気に入り（宝物）マップづくり ・宝物を活用しよう
	<p>第2回検討会（11月上旬）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート、ワークショップ結果報告 ・要素別課題の設定 ・景観形成の方向性の検討 	<p>第2回検討会（11月上旬）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート、ワークショップ結果報告 ・検討課題と方向性の設定 ・課題検討
	<p>第3回検討会（1月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要素別課題の検討 ・地区別景観形成方針の検討 	<p>第3回検討会（1月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園整備・管理方針の検討
	<p>第4回合同検討会（3月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各検討会取り組み事項の報告 ・次年度に向けた取り組み内容の確認 	
H 1 8 年 度	<p>検討委員会を3回程度開催（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度の景観形成の方向を実現するための方策検討（景観まちづくりの計画（景観計画骨子含む）をとりまとめ 	<p>公園内における事業実施（松並木対策、施設整備等）府民協働の取り組みの推進</p>
	<p>景観行政団体（京都府）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観計画案の策定、説明会等 ・景観計画の決定 	<p>天橋立公園の適正な整備管理の実施</p>
H 1 9 年 度	<p>住民主体、官民協働による景観まちづくりの実行</p> <p>景観法に基づく、建築物等、屋外広告物などの誘導により景観形成</p>	

天橋立周辺モデル地区検討対象範囲（案）

